す。

だより

会長 あ いさつ

和 から平成 へと年号が変わり、 小 野

しい 昭 時の流 れを感じ のソウル ております。 オリンピ のこととお

目指 日本 き始めたようです 期 ク大会も大成功にて終了し、 アジアで二度目 皆さまもお元気でご活躍 慶びを申し上げます。 新 大会へ向かって各競技も活発に動 オリンピ 着々と歩をすすめておりま ック委員 会も 法 はや次 人化 を

> 回目 11 生 うTOLは、 ざまな汗の中で感ずる思いを語 聞 知恵をしばっ 時代から、 ャンピオンスポー 今年もソウル大会参加選手のお話 1 っ み出す新しい、 かせて頂くよう交渉中ですが 1 の総会懇親会を前 参加をお待ちしております。 ぱいです。 タル あるいは指導するこの頃、 才 広く市民スポ リンピッ ているところです 明日への新たな活力を 一人でも多くの皆様 出 ツに青春を賭け 逢 クレディ に いや楽しさが ーツを楽し 幹 事 ス さま り合 6 た を チ 同 $\overline{\mathbf{H}}$

第 四

T 0 総会報告

日 所 時 午前 昭和六十三年六月十八 東 京 十時 プリンスホテル より 日

場

式 次

会長挨拶 経 開会 起過報告 0) 言 葉 小 小 吉 野 野 野 トヨ 清子 清子 子

(体 (陸

操 L

会計 報告 星

7

陸上 体操

その 閉 会の言葉 他

吉 野 1 ヨ子

> 陸 Ŀ

親 開 招 待者紹介及び 会 会 の辞 会 午後 長 久保初 葉 時 挨拶 ょ 吟子 n 枝

1

Ti I

体操 スケー

小沢さん

柳川覚治参議院議員秘書)

日下部さん (デサント

天野幸江さん

(スミエプランニング)

び 杯 12 会食 梅村すみ子(陸上)

抽 選 会

懇 乾

親並

個人情報掲載につき閲覧不可

関

シーズンは長野の室内リンクで 十月からはアウトリ

された選手の皆さんを迎 カル ガリー冬季大会に出場

最近 の選 手 0) 傾 向 12 つい

7

その他

は

スケー

1 0)

他

らない。

練習をするが

費用

はあまりか

111 端

出

房関川田席

野ナ端中者

妙ツ絵智

子工美子

ススアフピピルィーペギ

スススアケケキス

トトー

ケー

は、 ればそれでよいと思う選手が多 インターハイや国体で優勝 くなってきてい ジュニアの選手 ようです。 待できるが国内のスキー 有名にならなくてもよ る が世界的 ので日 本にも 12 でき 少な 選 手.

関

111

並

U

に経費につい

7

夏は海

外で練習をする

日本のスキー

場は一般

0)

人を優

日本では年間四ケ月。

費用は

X

カーがだしてくれました

先させる為辺ぴな所で行う。

出場者

より挨拶の

出

席者より

質問

に対し

田 中 世 界的に上向きである

ジュニアが育ってい ように対処するかが るが国 問 題 がど

関

食事について

スタミナのつくものを食べてい

る

111

ンク、

夏は

ローラースケー

1

7.

が 好きなものを食べている。 算してとらなくてはならない

関ナツエさん

自転 ことになったので、 夏季大会の自 13 て何ってみ 車 0 事 i る。 か記 転 車に 者 6 その点につ 0) 出場する 人にも 聞

関

で女子との試 の選手について練習しているの 見ることができない 1 かれない 1 のタイヤを見て走っている ラックの急斜 スの 配分につい 合は楽である。 面 は ては、 ので、 怖くて下 男子 前 を 0)

田

TO しくて袖も通せない程である。 Lから 頂 いたトレーナー が

抽 選会

おれたはないさん しあげます たきました。 厚くんの質品を提供しいは、次の各社から

協 賛 休デサント 各社 順不 同 敬称略

日本航空株) ミノルタカメラ株

(株) ポーラ化粧 品 本

大塚製薬株)

旭フーズ株 (株アシックス

エイボンプロ ダ クツ

(株)ミズノ

タカラベルモント株

長野、 江戸川区 本タンデムコンピュ 冬季五輪招致委員

会

(株)スミエプランニング 1 ター ズ(株)

> J R A 日 本 中 ·央競

N T T 日本電 信 電 話馬(株)会

J R 東日本

東京コカ・コー ラボトリング株)

サッ ポ ロビー

新谷鈴子さん(体操)

ルイジアナの空の下で…わが青春 の体操留学記

うなぎ白焼を土用うしの日 「去年の総会でビーフステーキが当 鈴木さんよりひとこと。 鈴木文子さん 嬉しかったのでそのお礼に浜松 陸上) に お 届 17

賞 名産 品 お二人のご好意を嬉しく頂戴し のうなぎを…」 の一部にさせて頂きました。

大 当少! 喜びの声

幸也な旅行券

昨年六月十八日TO 井上 しの総会で私 喜久子

おか

げであり、

そしてこの券を会

にご寄附下ださったデサントのマー

頂きました事はTOLの

会の福引き

れ素晴らしい

晚婚旅

行を堪能させて

た。 宅致しました。二日間 原を通り福岡に戻り、 こでは、 七日には雲仙から竹崎港にでて、こ と一緒に車で八代に抜け、 ぐを満喫、その翌朝からはこの 空港着、その夜は主人の 五橋を経て雲仙迄、 で松島町に渡りパールライン、 からの友人M氏御夫妻に招 になりました。 そ数十年振りに九州旅行をすること り帰国、十月、 A を持てるようになり、 く十二月に入ってやっと自分の 致しました。ソウルオリンピックよ としては 温泉でソウル迄の疲れを一掃、 の航空旅 かに料理 未だかってない大当りでJ 行券を引当てびっくり 十二月五日午後 十一月は何かと忙し 後は唐津千本 足を延ばし 共快晴に 次の十時頃 主人とそれこ 小学校時 フェ かれ まし リー 恵 天草 方達 時 ま 代 間 |岡

く御 ケッ 礼 申 ング室 しあげま J す。 A L に 心 か 5 厚

カ x ラ

に「ミノル て馳せ参じ、 六月十 青の十番、二当賞、カメラです 八 タ」の水中 抽選にまったく弱 H 長 TO 久保両先輩の L -撮影も の宴 7 可能 美し い私 遅

と祝福してください わけなく、でも皆様 入れたのでルール 違反では…と申し ました。 良かっ たわ ta

す。

遅れて来て最後に抽

選

カードを

可愛い黄色いカメラが当たったので

話しました ラを買って!」と言 0) 機械?に弱い主人と私 物 持っ が一台しか て恥 修善 ず か 寺 無く、 で しくない 合宿 われていたのを 息子に 中 0) 新 カメラは 息子に電 力 × 昔

ヤッタネ、 T 0 ソウ L で頂 ル 12 11 た 持って 一、記 念カメ くよ

> る事に ラ 毎年一回、 は なり ソウ まし ル オリ 年代は違っても た > ピ " 7 1 同 参 U 加 す

色い さって、 事の方、 会を作っ 11 方々に感謝をしなが 出 カメラ」を眺めています。 より盛上 そしてこの会に賛同して下 て下ださっ 遠慮する事 げて下ださる企 なく話合える ている会長、 ら「幸せの 带 業 幹 機 想

ありか とう ! ピフテキ

なりました 供の 会長が ながら、 顔を思 頂くのは 11 口をあけている五人の 頂 申し訳ない 戴し て御馳 小 野 なー 走に نح 子

思い

子

七人家族ですので、 皆さんありがとうございました。 0) おい 舌 なめずりを見たの しさの に 「ウィス 具合百点満点でした。 + 1 もちろん子 み、 _ 持参します。 満足な顔 供達

> 年 度 事 業 成 報 告 年度予 と

平

元

定

1 第 スポ 七 タル ーツと女性そして子供 グル 才 IJ 1 ンピッ フ° A & Z クレ フ オ チ 1ラ ィスと語 + リティ たち 4

場 所 サンシング 四時 5 一六時三十分 ホ 1 ル

H

時

昭

和

六十三年六月二十五日

国 Ш 市 国 富

È 援 催 グルー Ш Ш 市 क्त プA 体 育 岡 協 & Ш 会 Z 市 . 教 岡山 育 委員 市 婦

岡 山 青年 1 ボ 会議 1 ル 協 所 議 O 会 H

三屋 崎 カルチ 喜子 裕子 + へバ 水 1 レー 泳 セン ター ボ 1

師

者 0 0 余

本

古

野

1

3

子.

陸

加

オ IJ " クと放送展

日 時 昭 和六十三 (チャリティサイン会) 年 九月十 四 日

月二日

主場 催 所 東 J N 京 R H A K 時~一五 • N H H 馬事文化財団 本 Kギャラリ 時ま 中央競馬 で

出

席

者

小

野清

子

(会長·体操

淵 長 か 保初 0) ドス 河田 子 ケー 清子 枝 (水泳飛込み)・ 1 米倉幸子(ス 陸) · 星野 上)・馬 綾

原

俊

(体操)・中村昌

枝 相

主

V 子

ボ

1

ル

竹宇治

出講

師

席

者

五 星

+ 野

名 綾

子

陸

上

水泳 1 葉吟

子、

望月紀美子

日 主 ス ポ 所 時 師 催 1 ツと人 刀根 兵 刀根 大阪 昭和六十三年十月十二日 藤 秀子(水泳 山小学校PTA 府 Ш 豊中市 小 学

蛍

ケ

池

校

出 席 者 T 学校関係

オリ ンピッ 時 東京 昭和六十三年 杉 クヘ 並 都 X 四 0) 杉 宮 並 区四宮 X 区体 + 民センター 月五 育部

日

場 日

日 ス ポ 時 1 ツと健 平 成 康 元 年二月 2 女性 四 日

所 ホ 名 テ 四 ル 時 + 市 5 中 4 ッス 七 村 X ルプラ 名 駅

ザ

場

主 催 京 大

後 援 中日 野 清 新 子 聞 , (体操

佐子 (水泳). ル 丸 山

サダ 斉藤

美

予定講 演

主 H 催 時 江 未定 井上喜久子 戸川区民 江戸川区立ポニー ンド完成後) 施設 公社

ラ



T 0 総 会に初 8 て出 7

初 め アイスダンス て T O L 年 0) 力 存 ル ガリー 在を知った 田中 智子 大会

私

が

う

物

b

感じ

まい輩

しう方晴

たプにらま

が

IE.

直ャ

申

ば

ら多

2

"

1

0)

n

なく

0)

先

おししと

な

1+

n

に戴

反 大

面变

素

1)

成

績ま電す後し役ン

をた

残 光

く案ピで

5

11

頃

だ

ったっ権

たの

2

思

11

ま退〇現

気軽

加

てく

だ

3

11

お

話

ま

7

恐縮

L

た。

IJ

才

打

た

私最

に後

TE

総生

会 活

内

がド

届を選ッ

11

は

引

ケ月

オ

ij

ンピ

ク --

ケ

月

後

11

ガ

リー

のに

念

で

す

0)

1

界

手

を

が宝物 を見 受け 事 0) 説 人 n か 0) を 5 が 明 3 7 は 覚 Ł 7 7 取 と 渡 た た ż 2 3 0) 61 2 時 英 私 7 た 7 ような気が た 激 た n 国 預 12 達 おり 励 T 11 0 時 to か 現 か が ない 時 0 0) 0) T 2 地 5 常 ま 12 お L 事 0 7 で 17 す 12 H は 言 で \$ ス L 直 練 E L そ つ た 葉 す 0) 接 꽙 ケ 大 て、 0) を 11 1 か 1 力 場 変 記 1 7 5 F ル 所 感 袖 V 0) 1 ガ L 緒 _ 連 ٤ 激 を 1 た 簡 に ٤ 盟 1) L ナ 通 ナー 文章 中 1 L 单 言 0) 7 な た す 方 入 を 11

とは 7 胸 3 IF ま 中 L オ to 7 to まし ij ン 緊 戴 7 か 0) な ま L 0) " た。 少し ンピ と張 張 素 弾 17 大 総 生き方 クを目 晴 た 会は 0) む 3 7 思 興 中 方 が、 違うのでは " ŋ 5 12 詰 13 12 味 を 諸 7 前 参 もあ とに お が な 1 寬 先 12 11 め 加 あ 思 目 輩 7 ヤ た 13 り、 1 7 か 2 方 物 11 か だ 0) < を感じ た か でない 7 が 出 な 雰 参 7 事 n 7 囲 お 11 そ 0) 11 加 ウル は 3 手 n か 5 0) 気 選 事 ま 手 0) 本 7 後 は 2 日 0) 年 オリ で 実 12 ど 想 L 中 8 2 0) で は 3 P 0) 像 た。 な 私 そ 12 招 す。 ン ٤ せ 3 ょ n 6 0) 致 n 11

知 13 えるスポ 初 そ 2 5 ま 0) 8 積 n 7 た P 5 知っ n 重 全 ね る > サー 多く 7 素 で た T か 晴 7 5 0) 0 きた 2 手 役 L 11 作 員 n 0) 6 寸 ŋ 0) 12 活 0) 体 0) 方 携 動 で ょ だ わ そ 17 あ な 3 2 n 0) 3 2 な 御 7 を 思 作 苦い 支 2

0) そうした中で、 人 人 0) 私 方 17 が 最 0) 6 自 己 感 紹 動 介 L to で

> る方 0) が b 会福 0) 7 11 体 な か 落 L 関 沢 7 目 3 力的 お 5 11 L た とお 係 Ш か 0 方 年 祉 5 現 た 7 11 5 お 12 つ 0) 12 を 在 方 I 7 らっ 話 皆さ 話 御 L お 6 重 ま N と を n 活 P 話 挑 ta 7 で L 伺 2 が L 3 H 躍 苦 戦 7 ど でき なさっ P 11 が んとう 5 後 L 6 労 1: 0) 1) た 輝 7 話 輩 11 目 が 方 まし な 41 11 3 標 なさ 0) 11 が か なと に 7 7 5 方 育 子 12 2 た 見 感 11 0) 成 2 7 向 庭 た が 思っ 之 動 5 お 12 L か た を 7 0) ま 話 つ 努 \$ 7 方 持 12 た 時 が L ると L 力 7 つ た。私 残 間 方 や社 L 今 て 段

か お ŋ 事 12 Ł 2 ŧ 変 当 目 12 戦 終 わ 7 12 時 争 た わ 戴 か ŋ 7 0) が ŋ 次 < か 事 為 ま 事 n 0) 7 P を 12 ウ T L を 11 は 楽 た。 11 0 ル ま な 幻 3 L オ L となっ てく IJ VI た。 2 0) また近づ にし 3 総 > な ピ ださ 会 年 た 7 お 7 " 무 才 お 話 皆 7 11 7 Ł IJ ŋ 7 た方 6 ピ を 樣 平 聞 ま ٤ 参 無 成 "



げの思い 出

て出 6 場 L 7 た 浅 ジ 才 井 7 IJ 陸 大会や ンピッ えり 1: ・マラソン ワ

出 大会に 7 何よりもこん 会とはやは K 場選 カッ せてきて n 選手がたくさん 初 までに 8 ~ 手 出 プ、 ル が 場 世界 0) 皆 ŋ L なに 厚 3 才 比 ま さを か IJ L 選 6 ンピ 難 たが 手 11 5 3 内 111 権 11 L 界中 容も " もの 痛 など、 んだとい クに 感しました。 それ でし 12 いし、 È 照 5 う事 准 た。 の大 なる を

> 0) 援

5 ソウ とい る様な競 から、 L 11 きたい わ さらに ま た事が、 う意欲 りま そこで世 ル てい オリンピッ た 今の自分が と思っ 技 界 ません。 逆に た 人生をこれ を持たせてくれてい は 成 界の 績 広 てい もっと は 11 あ 強さを身にしみ 気持 クに出場できた 世界の広さを痛 ま るんだ、 + 7 す。 強 L からつくっ ち 五 な印象 は くなりた 位 まだま 0) と言え 惨 ます。 をう 7 た か だ い、感

あ

りがとうござい

ました。

ておりま

す。

秋 山 エリ 力

新

体

を読 さえとなりまし ださるんだ、 入賞はなりませんでしたが あ 才 りが ま レゼント リンピッ 5 せ しい てい とうござい クでは ただ であ 先 た。 輩 と大変心強く心 き、 方 3 才 が ま 心 IJ 見守ってい 私 わ L のこも れら応 た。 ンピッ 12 は こん 先輩 7 援 自 た 応 7 な、団 操 方

<

この経験を生か オリンピックでの応 合をすることが 0) 全 カ を 出 しきっ できま 7 頑 援 張 悔 n 11 ź た。 0) 心から感謝 残 す 今 5 後 D 6 試

長 谷 Ш

り、 切です 射撃競 忘れら う力 クまで 競 か 過言でない位に打込んできたの 0) 5 放技な でし 才 を が リンピッ 変化 た。 発揮 ので環境が変化 射撃は 0) 放技を始 つも n ない 少 Ŧi しない しでも 青 できなくなっ と違うなと感じたら 年 春 め 思 クは 間 メンタル 0) は 7 11 よう 集大成 心 から、 出 の乱 大変 となりました。 私 しても にする にとって生 な面 れが生 てしまう 充実し と言っても オリンピ が U 強 が 7 たも た 分 大 " す

そう思 だとお であるとおもいます 下ださるのでは 命に努力してゆけば、 頃 そ の練習をおろそか n 6 11 6 を自分の 込んで練習することが 5 11 ま 負 試 す。 0) 合を終えて ない 中 ò 自 にとり込むには ち でし 分なりに一 2 神様も認めて 12 11 よう しないこと 感じたこと うことでし か。 大切 生懸

切ることができた。

そ

L

7

負

1

た

图 智子

には、これで現役を退く決意で臨 謝し からの 試す舞台として目指 サン クを経験する幸運 ソウル てい 目標でした。二回の ゼ ますが、 ルス大会を夢中で終え オリンピ 本 " 当の クは、 した今回 12 は、 フェ 自 分 心 オリンピ 四 ンシン 一の試合 から感 0) 年 力 た時 前 4 を 0)

.7

D

の日は不思議 る事 う精神的なプレ 6 無く、 と、 本当に全力を出 ッシャー 焦りや、 に あ 悩 が

> おも て自 来事 る事 る目標に向かって走り出したいと、 それらの想い 選手との手ぶ ています。韓国で体験した数々 ケ月たった今、 残らない試合だっ その 今までの国 が、 てい 7 分の競技生活の総まとめなど。 ような試 ソウル ています どんなに難しいかを痛 ます。 出を大切にして、 り身ぶりの交流、 の人達の熱気や、 際大会で、一 合でした。 新し 競技から たの い目標を見 では 離 n 番 て約 悔 次な そし つけ 外国 0) 感 11 出 四

中

とい れてから なかったことは、 私にとって、 ソウ つもコー IV 3 「オリンピックは魔物だ」 オリンピッ ンクロ チから まずやらなければなら ナ 1 オリ ズド 聞 ク選手に選考さ かされ ンピックで平 スイミング てい

このようにしてオリンピッ

してきたので、オリンピッ

クでは クを過ご

ひとつ感動したことはありません

た。

むしろ日本に帰っ

てから

0)

方 7 何

ほど遠 することなく自分の力を発揮するこ られたのは、 己流の とができました。 いますし、 ちを高らませることなく落着い ぐに感激してし 格的 会式などに参加しても、 とっては充分効果がありました。 間、 ーニングをしました。 11 時にでも焦っ る様々な場面を設定させ オリンピッ 常 ように自 0) 心 なメンタルトレーニングとは 毎日寝 を保 メンタル 11 トレーニングだったので、本 もの ち 結局試合でも、 る前 2 分を常に落 その効果であったと思 たり、 だと思いますが 試 1 11 まう私が、 に試 合 レー つ 直 6 緊張 合中 前 ニングでし 0) これは全く自 までの 着かせるト 力 11 て、 したりしな に起こり得 を出 全く緊張 全く気持 つもはす どんな 数 せ てい 私 ケ月 る 開 13

して 喜び ま 私 か 7 " が で にとっての n 7 をかみしめてし をとれたんだなぁ P 11 < 0) ま で 動 苦し すが、 春だっ のあ 7 長 色 が は N ょ 11 学べない多くの 4 な方に 4 経 0) 過 それ たの が で 青 数 えっ あ 春 日 7 ŋ まい は は 7 間 「ソウ あ 7 り、 違 しょうね」と聞 が 蓝 うと思い あ ま 才 通 7 なたに リ 本 ル の生活・ ンピ 当に 体 n みじ た 才 験 ま リ なの ます とっ で > " X 4 を 4 0) 7 ٣

わ

n

5

応

援

団

な舞台 に心 最 か 後 長 に 5 7 い間 感 7 銅 才 応援 謝 リンピックという華 X 申 ダル 支えて下ださっ し上げ て下ださっ をとらせ ます 7 た皆 た先 下 ださ P 生 か

せられま

した。

あり

がとうござい

ました

E0U

手 体 n 8 7 たソウ 0) 協にて女子選手 1 幹 六 結 事 + ク入りT が ज = 年 式 ル 12 才 代 九 出 リ N 月 シ 木 + + 席 七十 第 ٣ " 又それ 日 " 2 体 名 7 小 日 育 に、 野 12 館 会 本 代 先 で T 長 立 0 表 行 は ち 選 b 1

の活躍 題 とひとことが など選手の方 付きをとり戻し L た激 励 リ を ラ 文集を読 祈 励文集を手渡 " りま クス 17 胸 た。 L & か にし んで 5 た。 グド 7 お 辨競 "先 ラッ 礼 嬉 輩 0) 技 L を前 クー か 0) 7 葉 7 ひ ליו が寄 た。 とこ ル 6 12 ٤ 落 で

です

りで 先 L た皆様 この ラス お 輩 ヘス 編 忙 か 申 ケ 1 L 5 集 小 あ 頂 1 12 したも 冊子は、 1) 2 げ 1 中 11 た原 評 ま 原 すす。 判 稿をお寄 0) 0) 0) 紙 です。 稿をも 各 中 0) 学 上 種 挿 を借 絵 心 Ħ 生 あ とに、 三十 0) せ下さ は た n お たまる 7 七 嬢 米 さん 倉 名 厚 11 手 3 ま 0)

史夏(ふみか)さんの手によるも

0)

〈星野

参加して二回世界マスターズ大会に

第

ても来る二自はしいブ 方れスらかりいを大ごす会迎日 達まべ十とでる占会と そ出て水十分一て場り 。にえ本 のて色着何な秒現所ス とし「七お参人めにに今出てマ 大 違楽々に年が余在でベ ーたン日も加達るな増で場おス 崎 いしなし前らり出し「 緒 °にまい出が家っえはしりタ 喜 に大てでま来多庭てて全たま | でく面てとまし場たン 子 出阪世オするくの来来国のすズ は泳でもはさかし 。は °大 なげ違やプか記た選私 主てて大は 発か界し X いて っは一と録一手に しらマス昨会こ婦お楽会 私今 ル ま約スト年もれやりしの四は年形ボ でよてりルおが〇時と しータラの多か仕まい参年マで しいい泳もも変〇代っ ール た〇 | リナくら事すマ加前ス六 ょ友るぎ現いわ米大て ン う達たや在まっ自会な 〇ズア月なはを 。ス数にタ年 大 今名がの十る かもめす着して由につ `持大タがな|目 슾 °出記くてたな形参か 回余開ブ日こ日つ部1 りズを 自 来録出い。くで加し のりかりかと帰て分ズ年ま大 由

マだあパましを混しは私に大ブ一第 ス泳わタしま組合 `銀の出先リ九二 行 タぐてリたしんメ両婚家場輩ス八回 |よてと°たでド親と族さのベ八世 ズり泳動ハ 。五レと両もれ西 | 年界 大もぎか | 私位 | 兄方 ` 、沢ン十マ 会目はなドはとリ夫の両上礼で月ス ス に標じくな五八レ婦お親位子開 参がめな選十位 | で祝は入先催オ | 恵 加あたり手Mにに混い金賞生さーズ しれの `生平そ仲合を婚さもれス水 ま 、ばで体活泳れ良り兼式れMまト泳 世とすののにぞくレね、ま飛しラ大 界、が不後参れチーて兄し板たり会 大日 **`調は加入 | `参夫た飛 °アは** 会本たに `し賞ム 加婦。込

タ活主練お現 行にら供も き守れ達家 1に婦習り在 大 たりて `庭 ズがのもま私 坪 い健い主の にん人しすは 惠 と康る人主 なば達て°ス 子 るっ `お皆イ 思でのの婦 っあで理と こて成りさミ 東 とよ人まんン てるす解し 京 かりのすはグ お限。がて 大 と一人。私教 りりいあ家 슾 ま水つっ庭 思層達こ達室 飛 す泳まてを い楽はれよで び ではでこ守 まし日かり指 込 すい常らす導 続もそり み 。マの益ごし け大続 て事け子 私ス生々いて

無八てんのるス咲ン元で広 事十きもおぞトき空気もい 終九まこば「ラ乱港印青と 了才しのさがりれにのいに し `た日んんアる降千海か た世°のもばの花り名のく 界参た八ら人々た余国広 さ記加め十なた、つは、い な録国に二くち何た初日大 が `トオち`よ '夏本陸 6 人レのや「り美の全、 大 数 | おのさ明しブ国青 修 `ニじ八あるいりかい 最ンい十がい町スらど 旅 高グち九んオ並べ我こ 行 年しゃ才ば「み」々ま

会の活動

のか

助の

そ気

つが

とし

金す。

りけり

とうな

なだ

隅て

12

書

ŧ

添た

ż

5

れ輩によ

た

ね返

ぎ信

11

0)

下

さっ

大

先

0)

は

が送まりった

\$

願

2

7

に

心

をこ

会

2

皆

なりとを

2

なぐ

橋

12

な

てい

n

ま

L

た私様

だ

に、

ま

まめ

だて

ややり

残

皆さんも夢に参加してみませんかきたいな、、、と夢を見ています

ま

す

か員

0)

皆

樣

お

元

気

7

11

5

2

P

11

×

宇

治

聴

子

東

京

大

会

背

泳

来イ食ぐ非おにのりこ生て苦キ六 たペ事れプ勧不感疲ろ活ましド年 ら「もて」め安じれがでしいキ振 ス又 `ルしを `て終はた事破り 又の楽気にま感たるわ考。だ裂の 世水し持おすじまのっえこっ寸国 界泳いち出。てりにたらんた前際 マをで良か生きま気後れなな、大 ス楽すくけ涯ませ持のな体ん試会 タし °疲下スしんは爽い験て合出 1くこれさポたねス快こはすっ場 ズ続れ `い」ら °ッ感と主って 大けかそ °ツ `少キ `で婦かこ心 会てらの体に水しりぐすのりん臓 に、も後も、泳体、つ。日忘な 行出マのほ是を力こたと常れにド

٤ 家 5 12 六 庭 務 つ な 2 + 局 0) りまし 8 事 年 情 3 + 会 に せ 月 た ょ 7 n 涉 頂 T 辞 外 \$ 0 退 0) ま L 3 L 会 お せ 役 た 発 7 をこ 幹 足 頂 当 事 2 0) 初 度 か ん皆の弁うせ、こで あさ人も `をどれあ りんた関泳バこかっ があち西げッへらた とりだ弁るクでも。 うがかもこにもい泳 とら`と詰水つい う。博はめ着まで `ブ多すてをでき 日リ弁ば参元もて 本スもら加気 `よ 全べ通しし印どか 国「じいたとこっ のンる`いいまた 皆市世信とうで さの界州思幸も

会員 つが脳裏をよぎります。 児島 の方々。 年に一 山形 嬉 度 L から駆付けて下さる の総会を楽しみ かっ た U とつひと に遠

をたようです。 TOLの活動もやっと軌道に乗って の上にも三年の一段階が過ぎ、

ます。 早くお願いしたいと存じます。バト 会費の振込み、返信等は ご協力によってのみ成立ってまい ンを引継ぐ後任 力をどうぞ。 会 の運営、 何度も 事務局 お願 の方に 11 して恐縮ですが 0) 私以上のご協 仕 出来るだけ 事 は 皆様 n 0)

オリンピックに出場した女子選手の会TOL(男性にすらこのようなの会TOL(男性にすらこのようなのより祈って…。

星野綾子(陸上) りがとうございました。

> 頂きます。 月の総会までに幹事会で決めさせて星野さんの後任につきましては、六



ういみかり 達

お願い

ざいましたら是非、 樣 そのためには皆様の協力なしで、 央部に限ら 運 知らせくださいま きることではありません。どうぞ皆 に広めることを目的としております。 て講演活動 営費に当てさせて頂 部をTOL会に納めて頂 の周りに TOL会のひとつの ず、この講演活動を全国 を行っています。日 "講演活動 せ。 事 尚、 0) いております 務局の方 事業とし 場"が、 き、 講 演料 会料のの 本 まし ~ で お 中

編集後記

ソウル 選手と、マスター て有がとうございました。 メッセージも、 また前回の抽選に当たった方から らしき トを踏んで来られたばかりの 項に終始 でした。 年 に 仲間 オリンピックという大イベ お忙しい中寄稿下さい 度 するのでは…という心 が一掃してくれ 0) 会報 じつに心温まるも ズに が 事務的 挑戦 ました。 な連 L た素 五 ま 名 配 0) 晴 ン 0) 0)

きたいとおもいます。「親しまれるTOLだより」に近づ皆様の感想は?と思うと不安ですが皆様の感想は?と思うと不安ですが

無集担当 成田 藤本 米倉

TOL事務局

星野方肚。三一三九二三九五八四東京都杉並已上井草二二九一四